

成年後見制度(法定後見)活用検討フローチャート

各種相談 ⇒ アセスメント ⇒ 生活上の課題整理

契約行為・財産管理等の課題あり
虐待の場合
契約行為・財産管理等の課題なし

支援関係者による会議等
権利擁護に関する制度の活用が必要な場合

他の支援制度へ
任意後見・任意代理・
家族信託 など

成年後見制度活用検討ガイドライン
(成年後見制度・あんしんサポートねっとの活用を検討)

☆のみに✓があり、あんしんサポートねっつで支援が可能な場合

あんしんサポートねっつの利用へ

成年後見制度(法定後見)の利用へ

1 事前準備 成年後見制度(法定後見)利用にあたっての調査
本人の判断能力、日常生活・経済状況等を把握し、支援関係者間で情報を共有

2 申立ての必要性の検討
職場内、関係機関でケース検討会等を開催し必要性を判断

必要性なし

他の支援制度へ

必要性あり

本人申立て	親族申立て	市長申立て
本人が… <input type="checkbox"/> 申立を行う判断能力を有している <input type="checkbox"/> 申立の必要性が理解できる <input type="checkbox"/> 申立の意志がある <input type="checkbox"/> 申立手続きを進めることができる (申立支援する場合も含む)	4親等内の親族が… <input type="checkbox"/> いることが分かっている <input type="checkbox"/> 本人の状況を把握することができる <input type="checkbox"/> 申立の必要性が理解できる <input type="checkbox"/> 申立の意志がある <input type="checkbox"/> 申立手続きを進めることができる (申立支援する場合も含む)	申立要請権者による要請があり… <input type="checkbox"/> 認知症高齢者の方 市役所 長寿安心課へ (高齢者成年後見制度利用支援事業) <input type="checkbox"/> 知的・精神障害者の方 市役所 障害者福祉課へ (障害者成年後見制度利用支援事業)

すべて✓の場合は
本人申立てへ

すべて✓の場合は
親族申立てへ

4 申立支援
成年後見センター・支援関係者が連携し、申立て手続きを支援
(必要に応じ、書類作成委任も検討する)

親族後見が難しく、第三者後見も後見報酬がないため、候補者探しが難しい場合

5 成年後見人候補者の検討
本人の生活状況、解決すべき課題に応じて、適切な成年後見人等候補者を検討

親族
第三者(専門職、法人、市民後見人等)

6 後見等開始の審判申立て
調査・審問・鑑定 ⇒ 審判 ⇒ 審判の確定・登記